

最新の情報

2010年6月15日 リバイブ・イスラエル・スタッフより

新約聖書に興味を示すイスラエル人
サハル S.

先週、40人の若いイスラエル人がリバイブ・イスラエルを訪問しました。彼らは皆大学レベルのイスラエルの歴史と文化コースを履修する学生たちです。彼らが来たのはなぜ私たちが、イエシュアがメシアであると信じるのか旧約聖書と新約聖書から学ぶためでした。新約聖書の約束がヘブライ預言書(エレミヤ 31 章)に書かれていることを見つけた時、彼らは驚きました。彼らにとって最も大きなニュースは、イエシュアはイスラエルの神を愛され、主の教えは十戒 (マタイ 5 章)の倫理法の成就に焦点を当てていたことでした。

彼らの中で幾人はメシアニックジューに対する先入観や怒りまでを抱いていた者がいました。会合の終わりの方で、ある若い宗教的な男性がやってきて、私たち、すなわちイエシュアを信じるイスラエル・ユダヤ人が何者であるかについての見方が変わったと認めました。「D」さんは、この会合を計画した女性の一人(まだ信者ではありません)ですが、私たちに對する宗教的迫害にもかかわらず、私たちが自分たちの民に対して大いなる愛を持っていることに非常に驚いていました。どうか、主のみことばを聞く者たちの心を主が開いて下さるよう、どうぞお祈り下さい。

モサブ氏に関する最新情報

アビガイル R.

最近私たちは「緑の王子」と題したモサブ・ハッサン・ユーセフ氏の記事を皆さんにお届けしました。今回、私たちの兄弟であるモサブはあなたがたの祈りと支援を今まで以上に必要としています。彼のイエシュアに対する信仰が最初に宣言された時、世界中のクリスチャンが友情を持って彼との関係を築きました。彼がイスラエルの諜報機関の秘密職員であったことが明らかになると、彼への支援が急に減りました。あまりにも減ったので、アシェルとの電話で彼は「あなたは私の残された数少ない友人の一人です。」と言いました。

6月30日の朝8時、モサブはアメリカへの政治亡命を認めない事に対して控訴するため裁判所に出席します。彼は最初、彼が潜在的に「アメリカ合衆国の安全保障に対する危険性」があるという馬鹿げた理由において亡命は認められませんでした。さらに認められないということとなると、彼はヨルダン川西岸地区へと送還されることとなり、そこで彼の命をハマスはすぐに狙うこととなるでしょう。

どうか私たちと共に、モサブのために正義と恵みがありますよう、主に切に願い求めましょう。もしあなたがアメリカに住んでいるのであれば、モサブの件について支援するため弁護士に電話する、あるいは手紙を書いて下さい。以下がその情報です。

Kerri Calcador
Senior Attorney
U.S. Department of Homeland Security
Immigration and Customs Enforcement
880 Front Street, Suite 224
San Diego, California 92101 phone: at 619.557.5578

もし彼の本をまだ読んでいないのであれば、どうぞこちらをクリックして購入して下さい。[「ハマスの息子」](#)（訳注：日本の Amazon のサイトにリンクさせています。）

ジュー・フォー・ジーザズのキャンペーン ゼツヴ N.

私たちはイスラエル最大の都市であるテル・アビブ北東部にあるシャロン地区での、4 週間集中伝道キャンペーンの後半にさしかかっています。私たちはこの地区に住むイスラエル人に福音を届けるためにバナー、福音のトラクト、電話をかける、インターネットのキャンペーン、調査、そして路上での音楽などの様々な方法を用いました。神が 25 人の小グループを用いて大きな福音のインパクトを与えることに、私たちは驚いています。主の恵みにより私たちはイエシュアの強いイメージを与えることができました。

私たちはある地区では思った以上に強い抵抗を受けましたが、ほとんどの伝道活動を、分かち合いを妨害しようとする者との時間を最低限に抑え、私たちができる方法に調整しました。私たちはイエシュアのことをもっと聞きたいと願う 2000 人を越えるイスラエル人から連絡情報をもらうことができました。私たちは彼らに文書を送り、私たちと会いたいと思っている人々をできるだけ多く訪問するという仕事にとりかかっています。この分かち合いにより多くの実を实らせることができるよう、どうぞお祈り下さい。

ウクライナでの分かち合い ロン・カンター

先週、私は 12 人の若いイスラエル人と一緒にウクライナのハメルニツキー (Khmelnitsky) という街を訪問しました。私たちはこの地域のメシアニック・Congregation (私の友人であるローマン・S が指導する) を支援するためにやってきました。ハメルニツキーは、1600 年に約 50 万人のユダヤ人虐殺に荷担した悪人の名を街の名としています。

私たちはこの Congregation が主催する野外伝道フェスティバルに参加しました。ユダヤの歌やダンスなどの文化的プレゼンテーションの後、私はイスラエル国歌の奇跡やヘブライ語の復活について語りました。この両方について、ラビたちが抵抗したことを説明しました。彼らはヨーロッパのユダヤ人にシオニスト運動に参加しないように、第一回世界シオニスト会議をボイコットし、さらに現代ヘブライ語の父であるエリエゼル・ベン・イエフダと断絶するよう警告したのです。

「もしラビがユダヤ人の歴史において最も重要な二つの出来事、すなわち言語と国家再建について逸してきたのであるならば、イエシュアについて間違いを犯すことは可能ではなかったでしょうか。」私はそこで初代のユダヤ的文脈を通してイエシュアの福音を語りました。

終わりに、私たちはイエシュアを受け入れたいと思っている人は私の祈りの後に続くようにと呼びかけました。そこに KGB がいたので、人々に名乗り出るようには要求しませんでした。そこにいた 480 人中半分が私たちと一緒に祈りました。多くの者がユダヤ人でした。全員に Congregation の情報を渡しました。

私のメッセージに加え、ミリという私たちのチームメンバーの一人が、自分が腫瘍から癒されたという証を話すことができました。彼女にとってその癒しがイエシュアの元へ導くこととなったのです。また、ジェイミー・ヒルスデン率いるヘブライ語賛美チームは大人気でした。シュロモ・イントレーターはいくつかの Congregation に彼が書いた歌である「イエシュア・モシヤ (イエシュア、救い主) を紹介しました。エリ・バーンバウムとイツハク・C は二人とも力強い証をしました。そして、私の娘であるシャロンはメディアチームを率いて、ほとんどをビデオに収めることができました。

私たちの「イザヤ 2 章のビジョン」の目標は、イスラエルから世界中へ、ユダヤ人、非ユダヤ人に福音を届けることです。